

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 藤岡商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																				
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考						
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法							
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員が事業所を訪問し、経営全般について様々な相談への指導をすることにより、経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、経営改善に資する指導を行う。	巡回窓口指導実企業数210社 巡回窓口指導延件数729件 課題解決提案数14件 経営革新承認件数1件 1、健全な企業を育成することともに、経営改善に資する指導を行う。	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 121.5%)	729	指標	課題解決提案件数 (達成度 70.0%)	14	課題解決提案件数が目標に達することができなかったが、提案案件の中に経営革新計画や、補助金の申請提案を行うことができ、採択という結果を残すことができた。	総合評価	A	実施評価	B	自己評価	B	調査結果	満足度	A	補足	満足	目標	経営課題に対して的確に対応するための業務向上に繋げるために、課題解決提案件数を引き続き目標に掲げる。	
記帳継続指導事業	個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な財務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	指導対象事業者数57件(当初55件) 指導延日数371日 指導延回数756回	小規模事業者	指標	対象事業所数 (達成度 95.0%)	57	指標	(達成度 %)		正しい記帳方法の指導と決算・確定申告を行い、適正な財務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつけることができた。	総合評価	A	実施評価	B	自己評価	B	調査結果	満足度	A	補足	満足	目標	経理の自計化と適正な財務申告に結び付けるとともに、現状の指導対象者を維持する。	
講習会	小規模事業者にとって必要な知識習得や時事的な問題についての啓蒙をはかり、資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。経営革新セミナーを開催し、経営革新計画承認を目指すことを目的とする。	集団講習会参加人数9回開催 参加人数70人(内、経営革新1回、4人) 個別講習会18回開催 参加人数332人	小規模事業者	指標	集団講習会参加人数 (達成度 46.7%)	70	指標	個別講習会参加人数 (達成度 94.9%)	332	講習会及び研修会などの開催により、小規模事業者にとって必要な経営一般の知識習得ができ、事業者の資質向上をはかることができた。	総合評価	B	実施評価	B	自己評価	B	調査結果	満足度	A	補足	満足	目標	知識習得のための講習会を行う。少数実践型の講習会を主として開催するため、参加人数の目標数値は両方下げる。	○
若手後継者等育成事業	若手後継者が人々の行動や考え方を広く理解した上で、個々の経営に関する資質向上に取り組み、本事業の実施により参加者のスキルアップを図り、顧客ニーズに対して柔軟に対応できる能力を身につけるとともに、参加者同士の情報交換を通してお互いの経営ノウハウを共有することをねらいとする。	経営方向上セミナーの実施 実施日時：7月24日、11月13日、1月19日、2月2日(計4回) 参加人数：51名 満足度アンケート「良い」以上の割合100% 全国大会(沖縄大会)への参加 実施日時：11月21日～22日 参加人数：9名 実施対象：商工会員及び地区内の若手後継者等	小規模事業者等	指標	研修事業の参加者数 (達成度 127.5%)	51	指標	満足度調査アンケート「良い」以上の割合 (達成度 125.0%)	100	青年部が経営方向上セミナーを実施し、地域リーダーとしての資質向上を目的とした研修を行うことで、個々のスキルアップに繋がった。	総合評価	A	実施評価	B	自己評価	B	調査結果	満足度	A	補足	満足	目標	個々の資質向上を目的とした研修を通じて相互のスキルアップをはかる。資質向上を目的とした少数精鋭型の事業内容にシフトするため、参加者の目標数は下げる。	
祭典	各種のお祭り・祭典などの開催と積極的な参加により、地域の経済活動を促進するとともに、地域の総合的な振興をはかることを目的とする。地域イベントと連携した売り出し等を行い、集客力アップを目指す。	ふじまつり5月3～7日実施 来場者数25,500人 ふじおかおいでん夏まつり7月8日実施 来場者数6,500人 ふじおか紅葉まつり11月17～19日実施 来場者数40,150人 合計72,150人	小規模事業者	指標	地域連携イベントの実施回数 (達成度 100.0%)	3	指標	各まつり来場者数 (達成度 72.2%)	72,150	ふじおか紅葉まつりは天候に恵まれず来場者数が昨年度より減ったが、各まつりが地域の産業をPRする機会となり、地域の経済活動促進に結び付いた。	総合評価	A	実施評価	B	自己評価	B	調査結果	満足度	A	補足	満足	目標	各種の祭典事業の来場者数の増加を目指す。藤岡支所の建て替え工事に伴う駐車場の減少のため、夏まつり来場者数の目標値は下げる。	
創業支援事業	創業者に対し、経営知識の向上を目的に創業塾を開催し、創業事業計画の策定支援を行うことにより円滑な事業展開を図る。なお、創業塾に関しては第2創業者にも参加できるように対応する。	創業支援セミナーの実施 実施日時：11月11日 参加人数：2名 満足度アンケート「良い」以上の割合100% 実施対象：地区内の創業予定者及び創業者、第2創業者等 創業事業計画策定支援件数：2件	小規模事業者等	指標	創業塾の参加人数 (達成度 40.0%)	2	指標	満足度調査アンケート「良い」以上の割合 (達成度 125.0%)	100	創業予定者に対して創業支援セミナーを実施した。創業事業計画の策定支援を行うことで創業者の円滑な事業展開をはかることができた。	総合評価	B	実施評価	B	自己評価	B	調査結果	満足度	B	補足	満足	目標	今後は創業事業計画策定後に定期的なフォローアップを実施し、セミナー実施後の積極的な情報提供に心掛ける。	○
商店街・街づくり事業	まち全体を商店街と見立て、商店街WEBシステムを立ち上げて商店街・街づくりに寄与する。併せて事業者の人材育成を含め事業計画書の策定支援を行う。	商店街WEBシステムの構築 実施日時：12月1日開設 実施対象：地区内の事業者等 参加数：8事業所	小規模事業者等	指標	商店街WEBシステム参加数 (達成度 160.0%)	8	指標	(達成度 %)		商店街WEBシステムを構築し、店舗の新着情報や販売情報、地図表記をすることによって地区内外に向けて消費喚起を可能にした。	総合評価	A	実施評価	B	自己評価	B	調査結果	満足度	B	補足	満足	目標	商店街WEBシステムを推進し、街づくりに寄与する。併せて事業者の事業計画書の策定支援を行う。	○
情報化推進事業	事業者等にとって有用な経営情報を取得したり、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための取り組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。	巡回・窓口による情報化指導件数68件 SNS活用販売促進講習会の開催(セミナー形式：1回) 実施日時：6月8日 参加人数：4名 実施対象：小規模事業者等	小規模事業者等	指標	巡回・窓口による情報化指導件数 (達成度 136.0%)	68	指標	SNS活用販売促進講習会の参加人数 (達成度 40.0%)	4	小規模事業者の情報化推進に取り組み、SNS活用販売促進講習会の実施によって、対象者の情報発信によるビジネスチャンス拡大に繋がった。	総合評価	B	実施評価	B	自己評価	B	調査結果	満足度	B	補足	満足	目標	有用な経営情報を取得することでビジネスチャンスの拡大を目指す。SNSを活用した戦略のための研修を実施する。	
雇用促進事業	就労者の確保・育成・定着促進をはかるため、就労の場の拡大や商工業等における意欲と能力のある担い手の育成対策を推進する。	優良従業員表彰5人 優秀企業表彰2事業所	小規模事業者等	指標	優良従業員表彰者数 (達成度 25.0%)	5	指標	優秀企業表彰数 (達成度 100.0%)	2	雇用の定着をはかるきっかけ作りが繋がった。また、今回の表彰に現職の各工場の候補者として従業員を育成をはかることができた。	総合評価	B	実施評価	B	自己評価	B	調査結果	満足度	B	補足	満足	目標	雇用の安定化に繋げ、従業員がステップアップしていくためのきっかけ作りの一環として継続して実施する。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業者経営支援事業費補助金関係）

団体名： 藤岡商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考						
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価						目標					
				指標	数値	指標	数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足								
青年部・女性部事業	商工業に携わる青年部、女性部に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上をはかるための講習会、研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を目的とする。両部とも組織強化のため部員の加入増強をはかる。	青年部員加入増強30人（当初27人） 女性部員加入増強39人（当初40人） 小規模企業の振興・発展につながる講習会・研修会の開催実施日時：10月5日（青年部）、12月20日（女性部） 実施対象：小規模事業者等	小規模事業者等	指標 青年部員数 (達成度 100.0%)	30	実績 数値	30	指標 女性部員数 (達成度 86.7%)	45	実績 数値	39	青年部は目標を達成することができた。部員一人となり積極的な加入推進活動が行われ、活動を周知することができ、組織強化に繋がった。	総合評価 A	実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 ①現状維持②下げる 実施方法 両方現行どおり	組織強化に繋げるために加入増強に取り組む。廃業等による部員数の減少に伴い、大幅な加入増強が見込めないため、目標数は下げる。	
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定をはかるために、各種共済制度の普及や従業員の健康診断の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	中小企業共済 301口 火災共済 25口 計326口 健康診断受診者数 144人	小規模事業者等	指標 中小企業共済加入者数 (達成度 75.3%)	400	実績 数値	301	指標 健康診断受診者数 (達成度 110.8%)	130	実績 数値	144	事業者にとって必要と思われる各種共済制度や健康診断をはじめ、従業員の福利厚生に役立つ共済の加入推進を行い、事業者の安定的な発展をはかることができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 B	補足	目標 現状維持 実施方法 ①変更する②現行どおり	加入推進を積極的にに行い、事業者や従業員の福利厚生に寄与する。新規加入者を増やす。	
労働保険事業	労働保険料の申告納付その他各種の届出等の事務手続きを行うことにより、事業主の事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進及び適正な徴収をはかることを目的とする。	委託事業者数 49事業所	小規模事業者等	指標 委託事業所数 (達成度 98.0%)	50	実績 数値	49	指標 (達成度 %)		実績 数値		労働保険に関する事務手続きなどを代行することにより、小規模事業者等の事務負担を軽減し、その適正な運用をはかることができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 B	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	労働保険に関する知識と理解を深めてもらいながら、引き続き未加入事業者の解消に努める。	
税務関係団体指導事業	青色申告会・間税会等の税務支援団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化に資することを目的とする。	確定申告書の受付件数112件	小規模事業者等	指標 確定申告受付件数 (達成度 186.7%)	60	実績 数値	112	指標 (達成度 %)		実績 数値		青色申告の節税メリットや、納税と税務に関する制度を周知して青色申告を行い、確定申告の受付件数の増加をはかることで小規模事業者等の税務の知識を高めることができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	青色申告の節税メリットや、納税と税務に関する制度を周知して青色申告を行い、確定申告の受付件数の増加を目的とする。	
部会・委員会事業	各部会事業は商工会の根幹をなす組織の一つであり、その大半は小規模事業者である。これらの部会事業を積極的に行うことは、小規模事業者の経営改善に直接つながるものである。	商業部会開催回数6回 工業部会開催回数7回 合計13回	小規模事業者等	指標 商業部会開催回数 (達成度 100.0%)	6	実績 数値	6	指標 工業部会開催回数 (達成度 116.7%)	6	実績 数値	7	商業部会では豊田市の商店街活性化計画に沿って事業を推進した。工業部会ではフォークリフト運転技能講習を企画し工業振興に取り組んだ。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 A	満足度 B	補足	目標 両方現状維持 実施方法 両方現行どおり	事業計画の策定支援と、フォークリフト技能講習やビジネスマッチング事業に取り組む。	
小規模事業者持続化補助金支援事業	持続的な経営に向けた取り組みを商工会が支援し、地域の原動力となる小規模事業者の活性化をはかる。本事業は、小規模事業者の地道な販路開拓などの取り組み支援を目的とする。	小規模事業者持続化補助金支援事業所数2件	小規模事業者	指標 小規模事業者持続化補助金支援事業所数 (達成度 40.0%)	5	実績 数値	2	指標 (達成度 %)		実績 数値		小規模事業者持続化補助金の支援を積極的に行うことができた。その結果、申請した事業者が補助金の採択を獲得し、新たな販路拡大のための事業実施に繋がった。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	新たな販路開拓のための事業計画の策定支援をする。事業計画の策定後は見直しを含めた経過改善の指導にも取り組む。	
専門家派遣課題解決事業	小規模事業者の高度な相談内容に対して、解決のために経営に関する専門家等へ派遣して、技術や知識提供を支援することを目的とする。	専門家派遣回数32回	小規模事業者	指標 専門家派遣件数 (達成度 533.3%)	6	実績 数値	32	指標 (達成度 %)		実績 数値		専門家派遣を利用した事業者が経営革新計画の承認を獲得することができ、実務に生かす指導ができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 A	満足度 B	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	課題解決のための一助として活用してもらい、高度な相談やニーズに対しても解決をはかる。	○
小規模事業者支援パッケージ事業 地方公共団体連携型広域展示販売・商談会事業	豊田市内の1商工会議所・6商工会が一体となり、小規模事業者と商品の紹介・販売を目的とする展示会を開催することを目的とする。	とよたの特産品展の開催 出展企業数2社 実施日時：12月23～24日 開催場所：金山総合駅構内（名古屋市内）	小規模事業者	指標 展示会出展企業者数 (達成度 66.7%)	3	実績 数値	2	指標 (達成度 %)		実績 数値		出展数は少なくなったものの、地区としての売上は上位を占めており、本事業を通じて商品の陳列方法や販売促進のノウハウを学ぶことができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後はこれまで出展をできていなかった事業者に対しても出展を促して新規顧客の獲得を目指す。	
事業計画策定支援事業	小規模事業者の価値観を明確にし、自社の経営理念を確立し、経営の強みと弱みを把握・理解した上で、課題解決のために必要な取り組みについての事業計画策定を支援する。事業計画の策定後は計画の見直しを含めた経過、改善を支援する。	事業計画策定支援事業者数 13社	小規模事業者	指標 事業計画策定支援事業所数 (達成度 185.7%)	7	実績 数値	13	指標 (達成度 %)		実績 数値		セミナーを通じて事業計画策定支援を行うことで、課題解決のために必要な新たな取り組みを考えるための機会になった。また、専門家派遣によって、計画策定のフォローアップに取り組んだ。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	巡回窓口相談と、専門家派遣による事業計画策定支援を行い、事業計画策定後は見直しを含めたフォローアップ支援を継続的に実施する。	○
調査・広報事業	地区内小規模事業者等への定期調査を実施し、分析結果はホームページに掲載する。また、分析結果を事業計画策定資料として活用する。	独自ヒアリングシートによる経済動向調査アンケートの実施日時：7～8月 実施回数：1回 実施件数（調査・分析対象事業者数）83事業所	小規模事業者等	指標 経済動向調査実施数 (達成度 100.0%)	1	実績 数値	1	指標 (達成度 %)		実績 数値		地区内の小規模事業者等が抱える課題を明確化することができた。また、分析結果をデータ化し、巡回・窓口相談において情報提供することができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 実施方法 変更する	今後は個社の新商品・試作製品・新サービスなどの調査を行い、日経テレコンから個社にあったデータを入力し提供する。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。